

法人（事業所）理念	○子ども・保護者・関係者が気軽に相談できる心のよりどころに ○今すぐできる具体的な支援を提案する（信頼関係ができてから）		
支援方針	○子ども、保護者との信頼関係作りを構築する。 ○子どもの言葉にそのまま反応せず、なぜその言葉を使ったのかに目を向ける。 ○子どもが選択して自己決定ができるようにする。 ○子どもが楽しいと感じ、気軽に安心して相談できる場所・人になる。 ○発達検査や行動観察を通して、個々の子どもに合った学習方法や生活支援を考える。 ○学校園などに訪問して、子どもの支援方法や相談活動を行う。 ○発達障害だけでなく、不登校傾向や精神面での困難さがある子どもにも対応する。		
営業時間	★通常時 14時30分から 17時30分まで （土曜日） 9時00分から 13時00分まで ★長期休み 11時00分から 17時00分まで （土曜日） 9時00分から 15時00分まで	送迎実施の有無	あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	●利用時のスケジュール用紙に<疲れた><元気>等の5段階を表現した顔を印刷しており、その日の気持ちに○をつけることで自身の気持ちや健康の状態を把握することができ、心身の健康につながっていきます。 ●座る位置やパーテーションを使ったり、音楽を聴きながら取り組んだり、いろいろな課題を短い時間で取り組めるようにしたりすることで、集中できるようにしています。 ●学校がある日、休みの日の一日のルーティンを円グラフなどに書いてもらうことにより、自分の生活リズムを知り、規則正しい生活ができているか振り返ったり、絵カードなどを使って、来所時やトイレ後には手洗いが必要なことをわかりやすくし、生活の中に定着したりするなど、生活で生きる力を身につけます。	
	運動・感覚	●ボタンを付けたり、ほつれた部分を直す練習をしたり、マスコットなどの作品を作ったりして、目と手の協応を鍛えたり、のりやはさみなどを使用しての指先トレーニングや将来の仕事の練習としてパソコン、ホッチキス止めなどの微細運動を意識した練習を行います。 ●運動プログラムの<ケンケン相撲>では、粗大運動のケンケンで跳びながら、お友だちと身体で押し合って相撲をとることを楽しみながら、体幹やバランス感覚を鍛えつつ、姿勢保持や力の加減など、自身の保有する感覚を養っていきます。	
	認知・行動	●SSTプログラムの<誰に向かってはなしているの？>に取り組むことで、自分に向かって話しかけられているかが分からない時には、話している人に質問をしたり、話している人の視線を見て判断できるようにしたりする等、具体的な方法を考えることで、自分と他者との区別がつけやすくなり、場面に合った理解や情報の処理のしやすさに繋がるようにしていきます。 ●季節のイベントや買い物体験などの外出を通して、四季を感じたり、外出での楽しみや注意することを学びます。また、片付けや座って課題や作業に取り組む練習、必要なときに我慢することや指示を聞くことなどを身につけていきます。 ●視覚や聴覚などの感覚を活用し、必要な情報を収集して、認知機能の発達を促すよう、WISCやK-ABCの検査結果を通して、ビジョントレーニングや、計算（電卓の使用あり）、お金、時間、カレンダー等の課題に取り組んでいます。	
	言語コミュニケーション	●会話でのコミュニケーション力を身につけるため、短い文を言った後に繰り返したり、大事な部分をメモしたりして、お話を聞く力も伸ばしていきます。 ●ひらがな、カタカナ、漢字の読み、手紙の書き方、電話のかけ方等、日常生活に必要なスキルを繰り返し取り組むことで身に付けていきます。 ●SSTプログラムの<アサーショントレーニング>では、自分も相手も心地よい言い方を考えることで、お互いを尊重しつつ、自己表現できることを目指し、自主性を大切にコミュニケーション能力の向上につなげています。また、ことばによる表現や理解が難しいお子さまには指差し、身振り、サインなどの活用、コミュニケーション機器の活用をしております。	
	人間関係社会性	●友達との関わり、挨拶、順番を待つ、必要なときにがまんすることや指示を聞くなど 対人関係、社会的なルールについて学びます。 ●SSTプログラムの<ふわふわメダル>では、ひとり一人のメダルを飾っておき、優しい言葉を使ったり、お手伝いやおもちゃを貸してあげたりする等の優しい行動をしたりした時に、メダルにシールを貼り、良いことを視覚化することで、相手が言われてうれしい言葉や傷つく言葉にはどんなものがあるかを知り、相手の気持ちを考えたり、あたたかい言葉を進んで使えるようにしています。	
家族支援	家庭での困り事について、ご希望に応じて、カウンセリング等（家族支援、子育てサポート・関係機関連携用）を月一回程度継続して行い、療育内で上手くいった取り組みや工夫、本児が興味を持ったものについてご家庭でもご活用いただけるように共有する。	移行支援	必要に応じて相談支援事業所と連絡を取り合ったり、訪問支援を活用しながら、上手くいった工夫や負担を軽減する方法等、保護者を通して学校等と共有したりします。
地域支援・地域連携	小・中・高等学校、相談支援事業所、フリースクール、学童、病院、こどもセンター等、必要に応じて連携しています。	職員の質の向上	●MTGで子どもの情報共有を行い、話しあったことを議事録に残し、いつでも確認できるようにしています。 ●4事業所の所長会議、管理職会議を実施し、法人としても同じ方向を向いて職場環境作りをしています。 ●新人スタッフが困った時だけでなく、日常的に会話をする機会を持つようにメンター制度を取り入れています。 ●事例検討会や発達検査などの内部研修を年に5～6回以上行い、スタッフがスキルアップをできる環境を整えています。 ●希望により時短勤務(7時間勤務等)をすることができ、育児や介護等による勤務時間の調整を行うことで仕事と家庭のバランスを取りながら、仕事を継続できる環境を整えています。 ●簡単なゲームや制作などを通して、スタッフ全体がお互いを知り、チームワークを高めることを目的として、チームビルディング研修を2か月に一度行っています。
主な行事等	●お友だちの誕生日にはカードを渡したり、長期休暇には買い物や外食、クッキングなどのイベントも行ってまいります。 ●夏休み休暇にはプール遊びやかき氷など楽しめる活動を準備しております。 ●保護者向けの研修&交流会を学期ごとに行っております。		